

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その
118

〔注〕

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に係のある主要なものを採録した。

○収録は令和2年4月～2年11月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部題及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌(紙)名・巻号(発行年)・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」(日本十進分類表に準拠)による。

総記・宗教

道場時代を窺う来迎信仰 田中教恵
斐太紀 24(20・04) P 33・34

歴史・地理

異形石器(四) 挟りが二つのタイプ
岩田 勲 どつこいし 120(20・08)
P 5・8

令和元年度の埋蔵文化財調査 竹谷勝

也・岡田勝幸 文化財おおの

85(20・08) P 7・10

尾崎遺跡出土の須恵器甕について

磯谷祐子 美濃加茂市民ミュージアム紀要 19(20・03) P 1・25

美濃加茂市仲迫間遺跡出土の美濃国刻

印須恵器 渡邊博人 美濃加茂市民

ミュージアム紀要 19(20・03)

P 26・40

縄文時代後期・晩期の下呂石 岩田

修 斐太紀 24(20・04)

P 183・201

戦時下の接客向上運動 ―昭和17年

ありがとう運動の展開― 社本沙也

香 博物館たより(岐阜市歴史博物館)

105(20・06) P 6 及び同

106(20・09) P 6・7

アジア太平洋戦争における郡上市白鳥

町の戦没者 白石博男 濃飛の文化

財 59(20・03) P 46・49

〔資料紹介〕「徳山氏系図」所収の土岐

頼武書状について 入江康太 濃飛

史艸 125(20・08) P 4・5

田辺家三代記 ―加納藩下級武士の日

記を読む 西村覺良 濃飛の文化

財 59(20・03) P 9・14

大樽川治水史と福東輪中 ―通史のた

めの関係史資料― 田中國昭 輪之

内学研究 9(20・04) P 15・28

金森瑞峰(里中霊塔公園)及び里区ゆ

かりの先人たち 神戸孝司 輪之内

学研究 9(20・04) P 29・39

- 新田開発から四百年 田中恵順 輪之内学研究 9 (20・04) P 92・97
- 東氏郡上入部八百年 斎藤武生 文化財やまと 45 (20・06) P 1・2
- 東池田の歴史と仏教文化について(二) 小木曾郁夫 濃飛の文化財 59 (20・03) P 40・45
- 新説大原騒動 第一章 明和騒動 尾崎啓介 斐太紀 23 (19・12) P 62・80
- 高札の維持管理について―幕府領飛騨の事例― 田中恵梨 斐太紀 24 (20・04) P 4・14
- 神様となった男 広瀬屋清七郎(完結編)―天明騒動指導者の生涯と決意―代情岑郎 濃飛の文化財 59 (20・03) P 29・32
- 明智光秀・斎藤利三と豊臣秀吉・那波直治(二) 児玉 剛 美濃の文化 147 (20・10) P 3・5
- 斎藤道三・明智光秀・織田信長の生涯と謎―丸山幸太郎 岐阜女子大学地域文化研究 37 (20・03) P 1・22
- 信長・光秀・家康 三輪成康 関ヶ原の歴史 348 (20・09) P 1・6
- 顕性寺に伝承される大井莊林郷の開拓史 浅野準一郎 濃飛の文化財 59 (20・03) P 37・40
- 美濃加茂市の市民ミュージアム所蔵文書光秀書状を読む 高橋教雄 郡上史談 162 (20・10) P 1・6
- 明智光秀の生涯水野隆生 関ヶ原の歴史 349 (20・10) P 1・6
- ちよぼくれ 横幕 孜 維新の道 39 (20・07) P 14・15
- 郷治と金華山落城両説論争問題 信長と棲黄(五) 伊藤克司 濃飛の文化財 59 (20・03) P 20・25
- 高山藩から天領へ―川原治右衛門の碑―長尾兼夫 濃飛の文化財 59 (20・03) P 25・28
- 新島流人上木甚平衛と江戸公事宿坂野屋平八 林 格男 斐太紀 23 (19・12) P 47・61
- 飛騨に残る楠木正成信仰について(二) 長瀬公昭 斐太紀 24 (20・04) P 125・139
- 南画家 小島光真に関する一試論―大正十年発行『南画と小島独山』を通して― 簗島一美 濃飛史 125 (20・08) P 6・10
- 資料紹介『求友會雑誌』と棚橋源太郎について 西尾 円 美濃加茂市民ミュージアム紀要 19 (20・03) P 42・47
- 所部太郎の先祖 3 弓削高生 維新の道 39 (20・07) P 10・13
- 土岐氏の大桑城と金森氏 金森氏の祖先は大桑氏 田中 彰 斐太紀 24 (20・04) P 50・54
- 中村清雄と広瀬武雄像―時代に翻弄された軍神広瀬中佐銅像―峠 順治 斐太紀 23 (19・12) P 173・196
- 播磨信仰と仏教①―槍ヶ岳開山播隆上人― 高野 聡 斐太紀 24 (20・04) P 82・95
- 津軽屏風と満天姫 渡部治行 関ヶ原の歴史 350 (20・11) P 1・6
- 勤王やくざ水野弥太郎 清水 進 維新の道 39 (20・07) P 2・7
- 森田誠軒 明治維新前後 糸田恵子 斐太紀 24 (20・04) P 26・32
- 各務用水と横山忠三郎 大堀 等 濃飛の文化財 59 (20・03) P 17・20
- 蛙不鳴池 船戸忠幸 濃飛の文化財 59 (20・03) P 56・58
- 「井」のつく名字・地名の由来 説田武紀 濃飛の文化財 59 (20・03) P 59・62
- 伊勢の旅人「松浦武四郎」十王堂に宿す 小池三次 濃飛史 125 (20・08) P 2・3
- 治水神禹王遺跡と西美濃 長澤 均 濃飛の文化財 59 (20・03) P 67・70
- 私が生まれ育った郷「飯積」についての考察 大橋和義 美濃の文化 146 (20・06) P 5・6
- 飯積「光敬寺」の法宝物「蛇頭骨」の話 大橋和義 美濃の文化 147 (20・10) P 6・8
- 日本と高山市の登山史 高野 聡 斐太紀 23 (19・12) P 117・134
- 消えゆく飛騨の峠道を歩く(三) 木下喜代男 斐太紀 24 (20・04)
- 社会科学
- 六次産業化の「現実解」は企画の内製化―白川郷から世界に発信するお菓子「ゆいのわ」の開発事例から― 森 俊介・田代達生 経済月報 780 (20・08) P 2・9
- 第191回東海地区企業動向調査 藤木由江 経済月報 780 (20・08) P 10・16
- 新型コロナウイルスの影響に関する特別調査 藤木由江 経済月報 781 (20・09) P 8・13
- みんなで作る魅力あるまち・ぎなん 岐阜の国保 337 (20・05) P 14・15
- 山と緑と清流がおりなす自然に恵まれた歴史と伝統の町・掛斐川町 岐阜の国保 338 (20・08) P 8・9
- かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川 岐阜の国保 339 (20・10) P 12・13
- コロナ禍で岐阜の街に人の流れはもどったか 櫻井靖雄 自治研ぎふ 127 (20・10) P 1・4
- 新型コロナウイルス禍における消費意識調査 萩原綾子 経済月報 782 (20・10) P 10・17
- 「新入社員」の意識調査 萩原綾子・高橋安希子 経済月報 778 (20・06) P 6・11
- 「新入社員」のライフスタイルに関する

- る調査 萩原綾子 経済月報 779
(20・07) P 6・11
関市における防災・減災の取り組み
く住民の力で災害に強いまちづくり
をく 土屋雅義 自治研ぎふ 126
(20・05) P 38・43
郡上藩の医術・医学伝習世話役たち
森永正文 郡上史談 161 (20・06)
P 1・8
「飛騨の版画教育」への一視点 黒柳
大造 斐太紀 23 (19・12)
P 135・153
悲惨な江戸時代の農民の暮らし 和田
昌三 郡上史談 161 (20・06)
P 9・10
聞き取り 山家の足跡(五) 竹原淑
美 斐太紀 24 (20・04) P 40・44
観音さんまつり(六) 中郷観音堂で
の観音経の勤行から 田中 耕
輪之内学研究 9 (20・04)
P 47・58
観音像と観音まつりを訪ねて 早野良
博 輪之内学研究 9 (20・04)
P 59・74
鳩峯車の台名由来について 川上富子
斐太紀 23 (19・12) P 10・13
鳩峯車組所蔵の高砂人形について 川
上富子 斐太紀 24 (20・04)
P 35・39
飛騨獅子雑考(八) 兀下義博 斐太
紀 24 (20・04) P 159・182
旧厚見郡佐波村の雨乞い踊り(上)
- 岡田吉孝 濃飛の文化財 59
(20・03) P 71・75
飛騨の仕事歌「櫓切り・櫓刈り歌・草
刈り歌」 堀尾雄二 斐太紀 23
(19・12) P 21・27
樋田の仕事歌「材木返し木遣り歌・川
狩り木遣り歌」 堀尾雄二 斐太紀
24 (20・04) P 15・22
「近聞雑録」「続近聞雑録」に見られる
流行歌と俗謡 横幕 孜 濃飛の文
化財 59 (20・03) P 33・36
自然科学
飛騨流紋岩と阿寺断層に深い関係があ
りそうだ 岩田 修 斐太紀 23
(19・12) P 28・32
飛騨地方の気象(五) 平成30年7月豪
雨 岩田 勲 斐太紀 24 (20・04)
P 45・49
輪之内に見られる野生アサガオ 田中
俊弘 輪之内学研究 9 (20・04)
P 40・46
「ホオノキ」あれこれ 峠 順治 斐
太紀 24 (20・04) P 96・110
各務原丘陵(各務原市)におけるシデ
コフシ群落と立地としての微地形と
の関係 後藤稔治 岐阜県植物研究
会誌 34 (19・12) P 3・11
大平賀湿地(富加町)におけるシデコ
フシ群落と立地としての微地形との
関係 後藤稔治 岐阜県植物研究会
誌 34 (19・12) P 12・19
- 岐阜県におけるツルミヤマカンスゲ
(カヤツリグサ科)をめぐる経緯
清水英彦 岐阜県植物研究会誌 34
(19・12) P 46・52
岐阜県のノジテンツキ(カヤツリグサ
科) 高橋弘・村瀬正成・福岡義洋・
藤井伸二 岐阜県植物研究会誌 34
(19・12) P 53・57
川と魚 大橋芳幸 輪之内学研究 9
(20・04) P 75・80
乗鞍岳のトビムシ類(第4報) 特に
高山帯のトビムシ類 須摩靖彦・高
井泰 生物教育 64 (20・03)
P 10・15
掛斐川水系牧田川支流今須川の魚類
相伊藤玄 草留大岳 日比野敦
稀、平野史也、中西陽人、島部日向
子、長屋美希、古屋康則 岐阜大
学教育学部研究報告自然科学 44
(20・03) P 33・42
工学・産業
大樽川洗堰に関する一考察 秋川晶則
輪之内学研究 9 (20・04)
P 2・14
輪中集落の住宅構成と集落環境の研究
(五) 輪之内における水屋の研究
を中心として 吉川 立 輪之内
学研究 9 (20・04) P 81・91
高山城石垣の石切場を発見 岩田 修
濃飛の文化財 59 (20・03)
P 53・55
- 飛騨松倉城の石垣は誰が築いたか(4)
岩田勲 どうかいし 120 (20・08)
P 9・12
美濃焼ブランドの新たな付加価値開発
(第4報) 小稲彩人 岐阜県セラ
ミックス研究所研究報告 2019
(20・03) P 27・33
飛騨の木工業とデザイン振興につい
て(四) 山腰 實 斐太紀 24
(20・04) P 140・158
正月料理の準備と喫食状況について
堀 光代 岐阜女子短期大学研究報
告 69 (20・03) P 5・11
たかす農泊実施協議会活動報告 水上
精榮 郡上史談 162 (20・10)
P 6・8
岐阜県の満州開拓移民を中心に(二)
馬淵夏修 濃飛の文化財 59
(20・03) P 50・52
田畑では喰えなくなった平成 直井昭夫
斐太紀 23 (19・12) P 33・46
冬春トマト(岐阜県海津市) 羽瀨千
恵 経済月報 777 (20・05)
P 18・19
休山以前の御用木元伐請負人(二) 一
幕領飛騨林業史の再検討 福井重
治 斐太紀 24 (20・04) P 55・62
美濃市の森林づくり 森林のたより
801 (20・06) P 9
柳ヶ瀬の建物の活用状況に関する研究
― 神室町を対象として ― 白井直
之、中島有香、水谷梨乃、松田果奈

- 歩 岐阜女子短期大学研究報告 69
(20・03) P 29・34
- 東海道線下り線敷設から七十五年 武
藤貞昭 美濃の文化 146 (20・06)
P 7・11
- 東海道線下り線敷設から七十五年 語
り継ぐ戦時下の工事(その一) 長
澤 均 美濃の文化 147 (20・10)
P 9・11
- 岐阜県のマイクローツリーズ展望
―ウイズコロナ時代の需要を探る―
中村紘子 レポート (OKB総) 179
(20・10) P 3・10
- 長良川鵜飼の観光アピールポイントの
変化 ―英語版旅行ガイドブックを
通して― 瀬戸敦子 岐阜女子大学
紀要 49 (20・02) P 33・42
- 「お賽銭・投げ銭」から見る高山への
外国人観光客 朝戸秀臣 斐太紀
24 (20・04) P 23・25
- 犬山の観光開発における吉田初三郎の
活動 ―日本ライン宣揚とその方法
について― 川本真弓 犬山城白帝
文庫研究紀要 14 (20・06)
P 43・54
- 芸術・言語・文学
架鷹図押絵貼六曲屏風について 高橋
教雄 濃飛の文化財 59 (20・03)
P 14・17
- 岐阜県立多治見工業高等学校所蔵の近
代陶磁器資料について ―年号が付
記された製品を中心に― 立花昭
岐阜県博物館調査研究報告 40
(20・03) P 3・11
- 梁川星巖の所持刀に思う 橋本秀雄
維新の道 39 (20・07) P 8・9
- 青木啓将著『現代日本刀の生成』書評
に代えて 刀剣鑑賞と「刀の世界」
ウチソト 南本有紀 岐阜県博物館
調査研究報告 40 (20・03)
P 13・19
- わらべうた備忘録(三四) 久野壽彦
ぎふ民俗音楽 124 (20・05)
P 5・8
- 飛騨市河合「小雀獅子」の音楽 小考
久野壽彦 ぎふ民俗音楽 125
(20・08) P 5・6
- 「おぼはだいこ」考 久野壽彦 ぎふ
民俗音楽 126 (20・11) P 1
- 「ご無礼します!」―入力してござった
よ!― 時代劇? 神田卓朗
篝火 154 (20・07) P 16・17
- 「飛騨美濃古老の思い出話」の方言資
料的価値 山田敏弘 岐阜大学教育
学部研究報告人文科学 68・2
(20・03) P 11・20
- 「島崎藤村の原稿」と「島崎藤村の葉
書等」のまとめ(続) ―島崎藤村
と静子夫人の葉書と手紙(その九)
― 大野博見 斐太紀 24 (19・12)
P 63・71
- 高校生達による飛騨文学の研究(二)
―古城高校文芸同好会機関誌「安
峰」に連載された「共同研究・文
学」にあらわれた『飛騨』の研究―
黒柳大造 斐太紀 24 (20・04)
P 72・81
- 色の濱等裁の文について(論文再発
見シリーズ63) 松尾靖秋 獅子吼
975 (20・07) P 32・33
- 芭蕉の俳句と支考(論文再発見シリ
ズ67) 阿部喜三男 獅子吼 979
(20・11) P 32・34
- わが遊行期(前) ひらみつ ぎよく
どう 文芸長良 40 (20・04)
P 62・76

注

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に関係のある主要なものを採録した。

○収録は令和3年1月～3年5月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部遡及分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌（紙）名・巻号（発行年）・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」（日本十進分類表に準拠）による。

郷土関係
逐次刊行物
文献目録
その
119

総記・宗教

『斐太後風土記』の書誌学的考察 堀

祥岳 斐太紀 26(21・04)P 29・35

「続 飛驒の文化 斐太の歴史 大野
政雄著述集」(二) 大野博見 斐太
紀 26(21・04)P 68・77岐阜県博物館・戦国時代をテーマとす
る展示の展開 ―美濃・森氏小考―山田昭彦 濃飛史艸 126(21・01)
P 6・7「しあわせ祈願の宮」のルーツを訪ね
て(二) 和田浅治 中山道加納宿

77(21・04)P 11・13

大垣戸田藩の「常葉神社」横幕政

濃飛の文化財 60(21・02)P 42・44

藤枝均郎日記と祖先を見つめる 藤枝

和泉 斐太紀 26(21・04)
P 60・67

大隆寺の礎石あれこれ 長沼利治 濃

飛の文化財 60(21・02)P 84・87

東本願寺の建造物とおいの木について

長瀬公昭 斐太紀 26(21・04)
P 89・99

円通寺と禪昌寺に関する基礎的研究

堀祥岳 飛驒の中世 11(20・10)
P 5・18

歴史・地理

本巢市上保 船木山石丁場跡の刻印

その一(後) 沢田伊一郎 城 232
(21・04)P 28・35

令和二年度笹山古墳内容確認調査

岡田勝幸 文化財おの 86

(21・02)P 8・11

江馬氏下館跡(GESSE)出土銭貨の

銭種 三好清超 飛驒の中世 11
(20・10)P 19・20

高野山不動院所蔵「飛驒国過去帳」(二)

大下永 飛驒の中世 11(20・10)
P 38・53

関ヶ原合戦の前哨戦「大樽川の戦い」

と文化財 船戸忠幸 濃飛の文化財

60(21・02)P 38・40

『資料紹介』加藤安彦から吉田利和あ

て書状 寛真理子 濃飛史艸 127
(21・04)P 2・3

承久の乱と木曾川 川合俊

KISSO 117(21・02)P 8・10

関ヶ原の合戦の会計報告 三輪好典

関ヶ原の歴史 352(21・01)P 1・4

寛延の加納宿絵図を読み解く 加藤浩

史 中山道加納宿 77(21・04)
P 2・4

代官の書状 清水進 濃飛の文化財

60(21・02)P 48・52

北方様の縁とゆかりで北方と宿毛が友

好関係に 平田盛夫 濃飛の文化財

60(21・02)P 52・55

今も昔も凌霜魂・郡上魂 馬淵曼修

郡上史談 163(21・02)P 1・3

明知荘に比定される柿田遺跡の水制遺構

KISSO 115(21・01)P 1・2

西浦家のあゆみと美濃焼物く西浦家文

書研究のためにく 小本曾郁夫 岩

井美和 多治見市文化財保護セン

ター研究紀要 14(20・03)P 3・45

東池田の歴史と仏教文化について(二)

小木曾郁夫 濃飛の文化財 60
(21・02)P 33・37

東池田城の概略 野村徹也 濃飛の文

化財 60(21・02)P 41・42

飛驒工の、逃亡の意味するところと

その終焉 三輪義弘 斐太紀 26
(21・04)P 17・22

飛驒中世史研究私論(八) 二反田實

飛驒の中世 11(20・10)P 54・71

越中へ進出した飛驒勢く中世の神通

川流域に残る牛丸氏の行動記録く

住修 飛驒の中世 11(20・10)
P 72・83

菱屋川上宗貞私論Ⅱ 都竹清隆 飛驒

の中世 11(20・10)P 84・96

一五〇四年(永正元)ころの中野照運

寺山科本願寺 二反田實 飛驒の中

世 11(20・10)P 97・112

梅村騷動と名張村の五郎左衛門 長尾

兼夫 濃飛の文化財 60(21・02)
P 56・60

変貌する故郷「上切」八千年の歴史

を辿る(中) 峠 順治 斐太紀

26(21・04)P 205・227

高山城石垣、破却後の行き先は(概略)

岩田修 濃飛の文化財 60

(21・02)P 45・48

旗本土岐氏についてく土岐頼次の子

孫を中心にく 入江康太 濃飛史艸

126(21・01)P 8・9

小西行長の墓・首塚の真実 田邊信行

関ヶ原の歴史 353(21・02)P 1・4

幕府目付 岩瀬忠震の旅日記より「安

政四年閏五月三日関ヶ原宿見聞」

細見昌男 関ヶ原の歴史 354
(21・03)P 1・6

郷土の発展に尽力した脇坂文助と鈴木

淳一 KISSO 118(21・03)
P 1・2

金森氏第七代 金森頼錦の盛岡配流

田中彰 斐太紀 26(21・04)
P 44・51

播磨信仰と仏教③ く槍ヶ岳開山播磨

上人く 高野聡 斐太紀 26
(21・04)P 148・160

飛驒真宗開祖嘉念房善俊(第一編)

代情琴郎 濃飛の文化財 60
(21・02)P 16・21

関ヶ原の戦い 最強の武将可児元蔵は

御嵩町が生誕の地 鈴木富雄 濃飛

の文化財 60(21・02)P 60・63

美濃国加納城を巡る(後編) 西脇公

輝 城 232(21・04)P 16・27

木曾三川 巨石と巨木 中根洋治

KISSO 116(21・01)P 8・10

刺繍仏涅槃図 岐阜五二四 伊藤嘉

章、日比野秀男 岐阜県指定文化財

調査報告書 60(20・03)P 1・7

美濃の地歌舞伎衣裳 岐阜有民四八

杉山博文、西岡陽子 岐阜県指定文化

財調査報告書 60(20・03)P 8・17

- 十五社神社本殿 岐阜五二五 麓和善 丸山幸太郎 岐阜県指定文化財調査報告書 60(20・03)P18・25
- 北方神社 岐阜五二六 麓和善 丸山幸太郎 岐阜県指定文化財調査報告書 60(20・03)P26・34
- 矢道長塚古墳を考察する 長澤均 濃飛の文化財 60(21・02)P9・12
- 美濃国守護土岐氏の最後の居館 タイムカプセルのように埋められている大桑城のなぞ? 西村覺良 濃飛の文化財 60(21・02)P25・32
- 国指定重要有形民俗文化財 各務の舞台(村国座) 大堀等 濃飛の文化財 60(21・02)P76・79
- 『国史跡関ヶ原古戦場』使命達成に向けての整備はじまる 高木優榮 濃飛の文化財 60(21・02)P80・84
- 『安』のつく名字・地名の由来 説田武紀 濃飛の文化財 60(21・02)P93・96
- 飯積の氏神「八幡神社」の沿革と神社に遺っていた「民俗文化財」 大橋和義 美濃の文化 148(21・02)P7・8
- 穂高岳における飛騨人の日本記録 近代登山史に輝く二つの初登攀顛末記 木下喜代男 斐太紀 26(21・04)P136・147
- 社会科学**
- 長く続く「岐阜市まちなか博士認定試験」の魅力(全国的にも注目される合格者の受け皿方式) 神田卓朗 篝火 155(20・11)P18・19
- 日本最古の戸籍ゆかりのまち 富加町 岐阜の国保 340(21・01)P12・13
- 消費動向に関するアンケート調査(二〇二〇年八月期) 萩原綾子 経済月報 783(20・11)P6・11
- 新型コロナウイルスの影響に関する特別調査二 藤木由江 経済月報 785(21・01)P10・16
- 働く人の意識調査(二〇二二年二月期) 藤木由江 経済月報 788(21・04)P2・16
- 第二十三回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果 梅木風香 レポート(OKB総研) 181(21・04)P21・32
- 産業の担い手育成の課題について 高山市での調査に基づいて 竹内治彦、見館好隆、河合晋 地域創生 39(20・03)P1・15
- 飛騨と鍵盤ハーマン二方 黒柳大造 斐太紀 26(21・04)P112・123
- 聞き取り 山家の足跡(六) 竹原淑美 斐太紀 26(21・04)P6・10
- 鳩峯車の旧屋台「大津絵」について(二) 川上富子 斐太紀 26(21・04)P124・135
- 山車・鯉鮒の発想「瓢鮎図」から「瓢鮎図」、そして「鯉鮒さえ」へ 清水昭男 濃飛の文化財 60
- (21・02)P21・25
- 旧厚見郡下佐波の雨乞い(明治九年の「多度山之黒幣」迎え) 岡田吉孝 濃飛史冊 127(21・04)P4・8
- 飛騨獅子舞雑考(十) 元下義博 斐太紀 26(21・04)P228・262
- 旧厚見郡佐波村の雨乞踊り(下) 青木久太郎文書が伝える芭蕉踊りの一類型 岡田吉孝 濃飛の文化財 60(21・02)P88・92
- アジア太平洋戦争における郡上市大和町の戦没者 白石博男 濃飛の文化財 60(21・02)P69・72
- 風船爆弾とユネスコ無形文化遺産「日本の手漉き和紙技術」 本美濃紙川嶋智孝 濃飛の文化財 60(21・02)P73・76
- 自然科学**
- 飛騨地方の気象(七) 「飛騨川流域の豪雨 令和二年七月」 岩田勲 斐太紀 26(21・04)P11・16
- 飛騨の地形・地質を放映したTV内容に思うこと 令和二年放送NHK総合テレビさん番組の分析 岩田修斐太紀 26(21・04)P189・204
- 市道戸狩・月吉線工事現場の下部中新統瑞浪層群明世層より鱗脚類の頭蓋を含む骨格化石の算出 甲能直樹 安藤佑介、楓 達也 瑞浪市化石博物館研究報告 47(21・03)P125・135
- 私説 飛騨の植物誌 その2 小野木三郎 斐太紀 26(21・04)P36・43
- 二〇一八年度空中浮遊昆虫調査 飯田園昌 だんだらちよう 111
- (20・12)P1・19
- 感染症・新型コロナウイルス 梶井正美 斐太紀 26(21・04)P52・59
- 走行サーベイによる岐阜県内の線量率測定 可児市、山内浩司、荒川一輝、柳田勁志、船本泰志、松嶋美和 岐阜医療科学大学紀要 14(20・03)P49・53
- 皇女和宮の「鵜沼昼飯」再現献立について 栄養学的・江戸時代の食養生的な見方 平光美津子、デュー・貴子、西村勝広、野澤義則 東海学院大学研究年報 5(20・03)P85・89
- 工学・産業**
- 今から十年前に発生した可児川の氾濫 KISSO 115(21・01)P3・4
- 明治改修工事による河道と輪中の変形 明治改修計画図に見る その3 KISSO 116(21・01)P5・7
- 長良川堤防が決壊した昭和五二年九・一二豪雨災害 KISSO 118(21・03)P3・4
- 土岐川と生きる 江戸時代の治水と竊竊 三浦哲史 多治見市文化財保護センター研究紀要 14(20・03)P47・56
- 忘れ去られた御母衣タム反対闘争(二) 古滝雅之 斐太紀 26(21・04)

- P 161・174
 デ・レイケが計画した犀川排水路、明治改修計画図に見る その4、KISSO 118(21・03)P 5・7
 縄張り図鑑圖記(二) 美濃 小原城跡 石田章 城 232(21・04)P 37・39
 根本の石灰窯調査 根本の歴史を語る 会 多治見市文化財保護センター研究紀要 14(20・03)P 57・74
 山茶碗の焼成方法に学ぶ現代のやきもの 岩島利幸 瑞浪市陶磁資料館研究紀要 18(20・03)P 1・10
 初期志野について 河合竹彦 瑞浪市陶磁資料館研究紀要 18(20・03)P 11・102
 窯株仲間から陶磁器工業協同組合まで 下石鑒業の歩みをさぐる 桃井 勝 瑞浪市陶磁資料館研究紀要 18(20・03)P 103・168
 飛騨の木工業とデザイン振興について(六) 山腰 實 斐太紀 26(21・04)P 175・188
 岐阜県の満州開拓移民を中心に(三) 馬淵曼修 濃飛の文化財 60(21・02)P 64・68
 岐阜県中山間地域における「コシヒカリ」の良食味米生産のための栽培管理技術の開発 可児友哉 佐藤秀人 山田隆史 岐阜県中山間農業研究所研究報告 15(20・03)P 1・8
 モモ新品種「飛騨おとめ」の岐阜県内における地域適応性試験 宮本善秋
 水野文敬 岐阜県中山間農業研究所研究報告 15(20・03)P 14・19
 少量培地耕における接ぎ木栽培によるトマトの増収効果 前田健 小田桃子 加藤優 勝山直樹 岐阜県農業技術センター研究報告 19(20・03)P 1・9
 卵用奥美濃古地鶏における飼料用米(モミ米) 給与方法、長期給与による産卵および卵質への影響、立川昌子、河合恒祐 岐阜県畜産研究所研究報告 19(20・03)P 31・37
 肉用奥美濃古地鶏の飼料用米(モミ米)給与試験、開放鶏舎におけるモミ米給与実証、立川昌子、石川寿美代 岐阜県畜産研究所研究報告 19(20・03)P 47・55
 休山以前の御用木元伐請負人(二) 幕領飛騨林業史の再検討、福井 重治 斐太紀 26(21・04)P 23・28
 現状の施設で製造可能なヒノキ材副製品としての床暖房用フローリングの開発 富田守泰、土肥基生 岐阜県森林研究所研究報告 49(20・03)P 1・11
 山県市の神崎川で再確認されたカワノリ 岸大弼 下本英津子、山口晋一 岐阜県水産研究所研究報告 66(21・03)P 7・10
 岐阜県西通りとその界限の話(二) 安田修司 中山道加納宿 77(21・04)P 4・8
 中山道十七宿と美濃の神々(二十五) 今津隆弘 中山道加納宿 77(21・04)P 8・11
 東海道線下り線敷設から七十五年語り継ぐ戦時下の工事(その二) 長澤均 美濃の文化 148(21・02)P 9・11
 堤防計画と東海道線敷設、明治改修計画図に見る その4、KISSO 117(21・02)P 5・7
 芸術・言語・文学
 石徹白虚空蔵菩薩像について 高橋教雄 濃飛の文化財 60(21・02)P 13・16
 『飛騨市河合「小雀獅子」の音楽 小考』 補(二) 久野壽彦 ぎふ民俗音楽 127(21・02)P 6・8
 楽しいアウトドアスポーツの仕掛人、北川健司さん 神田卓朗 篝火 156(21・03)P 10・11
 占領期岐阜における「文化主義」 小木曾旭晃と『地方文化』、林正子 岐阜大学地域科学部研究報告 48(21・02)P 1・31
 芭蕉の俳句と支考(論文再発見シリーズ68) 阿部喜三男 獅子吼 980(20・12)P 34・35

郷土関係 逐次刊行物 文獻目録

その
120

注

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に係のある主要なものを採録した。

○収録は令和3年6月～3年10月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部追加分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌(紙)名・巻号(発行年)・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」(日本十進分類表に準拠)による。

総記・宗教

2020年の常設展示室「もよう替え」

く展示品の先の世界へいざなうく

可児光生 美濃加茂市民ミュージアム

△紀要 20(21・03)P40・49

歴史・地理

異形石器(6)挟りが三つのタイプ…

B型 岩田勲 どっこいし 122

(21・08)P7・9

尾崎遺跡出土の須恵器類について

磯谷祐子 美濃加茂市民ミュージアム

△紀要 20(21・03)P12・27

湯ヶ峰における下呂石の石質と分類

について 平井義敏 斐太紀 27

(21・09)P57・71

下呂石に恋する縄文人 ―富山平野に

おける下呂石製石鏃の分布― 麻柄

一志 斐太紀 27(21・09)P84・93

続・日本海域の下呂石 最新の発掘

調査から 古川知明 斐太紀 27

(21・09)P94・99

表面採集による下呂石の「石核・剥片・

細片」の統計調査 岩田勲 斐太紀

27(21・09)P100・105

飛騨に於ける縄文後期前半の土器編年

戸田哲也 斐太紀 27(21・09)P

156・165

飛騨地域における縄文時代後期の山形

土偶について 岩田崇 斐太紀 27

(21・09)P166・180

飛騨の考古学ノート ―高山市史『先

史時代からの古代編(下)― 弥生

時代』の補遺を兼ねて― 馬場伸一

郎 斐太紀 27(21・09)P181・191

弥生と大森の関係における岐阜県北部

の位置 ―大森呪術石製武器の相

克― 岡本孝之 斐太紀 27(21・

09)P192・201

製塩土器の紹介 上嶋義治 斐太紀

27(21・09)P220・223

下呂石 ―研究史、石器石材としての

特徴と分布調査― 岩田修 斐太紀

27(21・09)P356・376

大垣市立図書館所蔵『岩手文庫』所収

「六角定頼書状」の基礎的考察から

見えてくること(上) 宮野宣康

濃飛史 128(21・09)P8・14

宝曆治水犠牲者と寺院 早野良博 輪

之内学研究 10(21・04)P38・57

美濃国府を探索する美濃国府の歴史は素

晴らしい 高木正弘 中山道加納

宿 78(21・10)P2・7

天下分け目の木曾川水系 山田輝彦

200 119(21・07)P8・10

西方北方城和泉城とその周辺 坂東肇

美濃の文化 149(21・06)P5・7

加納藩における目付制度 佐藤友里

岐阜市歴史博物館研究紀要 25

(21・05)P46・66

大垣藩の祭祀規制 清水進 美濃の文

化 149(21・06)P2・4

福東輪中出身者・在住者の諸外国への

渡航と来朝者との交流 田中國昭

輪之内学研究 10(21・04)P8・21

「輪中根性」(水をめぐる輪中意識) 神

戸孝司 輪之内学研究 10(21・

04)P22・30

新田開発から400年(その二) 田中恵

順 輪之内学研究 10(21・04)P

74・84

八幡西中学校保管考古資料について1

千虎遺跡 岩田崇 郡上市歴史資料

- 館報 2 (21・03) P 41・72
加茂野の古代 ―古墳時代を中心に―
渡邊博人 美濃加茂市民ミュージアム紀要 20 (21・03) P 28・39
岐阜大学コレクション展 (2019年度) とその後 藤村俊 美濃加茂市民ミュージアム紀要 20 (21・03) P 66・69
遺稿 飛騨から来た・飛騨へ行った
土器・石器など ―現代まで(木曾で) 神村透 斐太紀 27 (21・09) P 5・13
飛騨の石槍 ―岐阜県下呂市大林遺跡における石槍の評価― 白石浩之 斐太紀 27 (21・09) P 39・52
下呂市上ヶ平遺跡と揖斐川町山手宮前遺跡の剥片デボ 長屋幸二 斐太紀 27 (21・09) P 53・56
先史日本海文化と飛騨 吉朝則富 斐太紀 27 (21・09) P 72・83
堂之上遺跡の縄文ランドスケープについて ―附・飛騨一宮水無神社の冬至の日の出― 藤田富士夫 斐太紀 27 (21・09) P 118・135
縄文時代中期後葉に建築された垣外型住居の再検討 長谷川豊 斐太紀 27 (21・09) P 136・148
聞き取り「ヒダサ」が知るヘビ(蛇)から縄紋時代を 竹原淑美 斐太紀 27 (21・09) P 149・155
考古学と人類学は先人を知るための両輪・飛騨における例 住斉 斐太紀 27 (21・09) P 202・219
古代の飛騨と朝鮮 ―そして現在に続く縁― 石橋茂登 斐太紀 27 (21・09) P 224・232
飛騨の考古学史閑話 ―飛騨の外から見た 窪田照久 斐太紀 27 (21・09) P 268・289
飛騨の考古学研究史 ―生前 飛騨考古学機関誌に投稿された未完の連載― 石原哲彌 斐太紀 27 (21・09) P 313・342
飛騨工の成立と伝承にかかる起源について 吉田晋石 岐阜市歴史博物館研究紀要 25 (21・05) P 36・44
飛騨地域で出土する縦置型一本づくり軒丸瓦研究の現状 三好清超 斐太紀 27 (21・09) P 233・247
近世・近代越中富山石工石造物の飛騨北部への流入 古川知明 斐太紀 27 (21・09) P 248・267
小島光真を取り巻く東京美術学校の諸問題 ―東台美術会結成をめぐる― 養島一美 濃飛史艸 128 (21・09) P 2・7
星巖梁川先生の日 背面陰刻 横幕孜 維新の道―岐阜― 40 (21・09) P 9・11
男爵 小原適 清水進 維新の道―岐阜― 40 (21・09) P 22・32
犬塚行蔵の考古学的思考 牛丸岳彦 斐太紀 27 (21・09) P 285・292
明治・昭和時代 三人の考古学者 田中彰 斐太紀 27 (21・09) P 293・301
「大江まさる」と岐阜県考古学会・岐阜県を一つにまとめた考古学者 吉朝則富 斐太紀 27 (21・09) P 302・304
大野政雄と考古学者 大野博見 斐太紀 27 (21・09) P 305・312
『金蘭遺香 田中探古』―朝戸善友宛田中正太郎・杉原てる書簡集について(一)― 松井朗 斐太紀 27 (21・09) P 343・355
「飛騨」と「飛騨」 大野博見 斐太紀 26 (21・04) P 2・4
GISを用いた近代における岐阜県郡域の復元と変遷 三輪晃三 岐阜県文化財保護センター研究紀要 6 (21・06) P 1・12
社会科学
「地方創生」と新しい地域づくりの方向 富樫幸一 自治研ぎふ (21・06) P 3・19
岐阜県の人口減少に関する一考察 中村紘子 レポート(OKB総研) 183 (21・10) P 3・10
第195回東海地区企業動向調査 藤木由江 経済月報 792 (21・08) P 2・8
デジタル化に関する特別調査 藤木由江 経済月報 793 (21・09) P 6・11
新入社員「コロナ禍における就職活動等」に関する意識調査 萩原綾子 経済月報 791 (21・07) P 8・12
若い女性はやがて消えるのか ―地方はジェンダーギャップの解消をめざせ― 田代達夫 経済月報 792 (21・08) P 10・13
平成三十年七月豪雨時の郡上市の警戒対応 〆〆〆 119 (21・07) P 3・4
学校保存資料から見る郡上教育の歩み(2) 大正期から戦前期の教育動向 安藤勝昭 郡上市歴史資料館館報 2 (21・03) P 25・40
岐阜県揖斐郡徳山村の伝承話(1) 野部博子 美濃の文化 150 (21・10) P 6・7
自然科学
岐阜県可茂地域の瑞浪層群から産出する樹幹 鹿野勘次 美濃加茂市民ミュージアム紀要 20 (21・03) P 1・10
イヌツゲ石垣の随伴植物 田中俊弘 輪之内学研究 10 (21・04) P 31・37
在来・外来タンポポの遺伝子解析を用いた生態学的研究 今井文暁 今井いずみ 生物教育 65 (21・03) P 11・16
地域希少犬「美濃地犬」の種の保存 香田佳那 農業教育 59 (21・03) P 27・30
キリシマミドリシジミに出現したモザイクについて 佐橋良隆 だんだらちよう 112 (21・07) P 1・2
土の市町村に住むかで健康寿命は3年

変わる ―岐阜県下の市町村別健康
寿命調査から― 森俊介 経済月報
791(21・07)P14・17
「大樽川洗堰組合文書」管見 秋山晶
則 輪之内学研究 10(21・04)P
1・7

工学・産業

旧徳山村年表 国登録有形文化財・旧
宮川家住宅母屋の移築に関連して
南本有紀 岐阜県博物館調査研究報
告 41(21・03)P7・11

八幡城模擬天守閣建設に関する行政資
料調査報告 ―城山公園造設計画か
ら落成祝賀会まで― 齊藤知恵子
郡上市歴史資料館館報 2(21・
03)P41・60

黄色種下顔料の開発について ―「飛
鳥井釉」と欧州諸窯の状況― 立花
昭 岐阜県博物館調査研究報告 41
(21・03)P1・6

美濃焼ブランドの新たな付加価値開発
(第5報) 小稲彩人 岐阜県セラ
ミックス研究所研究報告 2020
(21・03)P6・9

資料紹介 紙ナフキン版木 近現代に
おける美濃の薄紙加工について―
松井今日子 岐阜市歴史博物館研究
紀要 25(21・05)P19・34

美濃産楮の高品質化のための栽培・管
理技術の開発 浅野良直、佐藤幸泰
立川英治、亀山遼一 岐阜県産業技

術総合センター研究報告 2(20・
07)P67・70

夏季の高温・少雨がクリの収量及び品
質に及ぼす影響と対策技術の開発 荒
河匠、磯村秀昭、神尾真司 岐阜
県中山間農業研究所研究報告 16
(21・03)P8・13

飛騨地域で栽培されているタカハラサ
ンショウの優良個体選抜 宮本善
秋、水野文敬 岐阜県中山間農業研
究所研究報告 16(21・03)P14・21

ハツシモ岐阜SLの良食味生産に向
けた管理技術 吉田一昭、神田秀仁、
荒井輝博 岐阜県農業技術センター
研究報告 20(21・03)P12・18

訪花昆虫導入時期決定のためのカキの
開花始期予測方法 荒川猛、中島か
すみ、杉浦真由、鈴木哲也 岐阜
県農業技術センター研究報告 20
(21・03)P19・24

農研機構メッシュ農業気象データを用
いた岐阜県スギ人工林冠雪害危険度
マップの作成 久田善純、原田守啓
斎藤琢、丸谷靖幸 岐阜県森林研究
所研究報告 50(21・03)P1・9

掛斐川の舟運と暮らし 吉野幸博 美
濃の文化 150(21・10)P3・5
岐阜西通りとその界限の話(二)
安田修司 中山道加納宿 78(21・
10)P8・10

中山道十七宿と美濃の神々(二十六)
今津隆弘 中山道加納宿 78(21・

10)P11・14

白川村で観光客の満足度の向上や分散
化を促す『次世代観光ガイドシステ
ム』の開発投入の実証実験の報告
―およびポストコロナの観光に与
える示唆 田代達夫 経済月報 793
(21・09)P12・16

芸術・言語・文学

『飛騨市河合「小雀獅子」の音楽 小考』
補(二) 久野壽彦 ぎふ民俗音楽
129(21・08)P6・7

鮎鱈献上廃止以後の鵜飼保護政策(前
(後) 佐藤友里 博物館たより(岐
阜市歴史博物館) 108(21・06)・109
(21・09)

坪内逍遙の日記から ―故郷の人との
交流 西尾円 美濃加茂市民ミュー
ジウム紀要 20(21・03)P1・12

墨伝う思い ―書を通して知る文人
坪内逍遙 和歌由花 美濃加茂市民
ミュージウム紀要 20(21・03)P
14・23

一茶と竹堂(論文再発見シリーズ69)
小林文夫 獅子吼 988(21・08)P
32・33
新潟の浮身と市振の遊女(論文再発見
シリーズ70) 市川三枝子 獅子吼
990(21・10)P32・33

郷土関係 逐次刊行物 文献目録

その121

〈注〉

○岐阜県図書館で受入れ、保管している逐次刊行物のうち、郷土に係のある主要なものを採録した。

○収録は令和3年10月～4年5月までに、岐阜県図書館で受け入れたもの、および一部追加分を含む。

○記載の順序は、標題・執筆者・掲載誌(紙)名・巻号(発行年)・掲載頁とした。

○分類はおおむね「岐阜県図書館郷土資料分類表」(日本十進分類表に準拠)による。

総記・宗教

妙見菩薩信仰 高橋教雄 八幡町文化財協会会報 46(22・03)P1・4

東庄町の妙見菩薩像と妙見信仰 高橋教雄 濃飛の文化財 61(22・02)P31・35

垂井町の狛犬について 藤塚久勝 垂井の文化財 46(22・03)P60・65

輪中地域の水神信仰の一例として――

中国から来た治水神・禹王――水谷容子 輪之内学研究 11(22・04)P2・8

民安寺を考える 小玉義弘 垂井の文化財 46(22・03)P17・26

栗原西法寺の寺額 水野隆生 垂井の文化財 46(22・03)P43・52

糸貫川と東山道の地に建つ円鏡寺 KSSO 120(21・10)P1・2

『美濃西国巡礼手引記』による旧札所の巡礼地図 船戸忠幸 濃飛の文化財 61(22・02)P47・50

忍勝寺文書 法系相統講規定 内海清明 垂井の文化財 45(21・03)P66・71

飛騨国白川門徒について――文亀二年、方便法身尊像の出現――福井重治 飛騨の中世 12(21・10)P1・10

瑞岸寺本『金屎集』の資料的位置付けと「本有円成仏」の古則について 安藤嘉則 飛騨の中世 12(21・10)P21・29

春日地区の教如上人と「五日講」小寺繁 いびがわ文化財 50(22・04)P1・2

歴史・地理

令和3年度野古墳群乾屋敷古墳内容確認調査 岡田勝幸 文化財おの 88(22・02)P8

下呂石の分布――縄文・弥生時代 石

鏝に使用された石材の比率変化――岩田修 濃飛の文化財 61(22・02)P7・10

美濃国分寺跡 国指定百年を考察 長澤均 濃飛の文化財 61(22・02)P15・19

国府町半田「横河山」に遺る石仏・石造物の紹介――飛騨で最も早い大原騷動供養塔の発見――堀祥岳 濃飛史 129(22・01)P2・5

大垣市立図書館所蔵『岩手文庫』所収「六角定頼書状」の基礎的考察から見えてくること(下) 宮野宣康 濃飛史 129(22・01)P6・11

【資料紹介】「美濃一國郷帳」における旗本佐藤繼成領について 入江康太 濃飛史 129(22・01)P12・13

【史料紹介】「広瀬美作人道申状案」堀祥岳 飛騨の中世 12(21・10)P30・33

【史料紹介】高野山不動院所蔵「飛騨国過去帳」(二) 太下永 飛騨の中世 12(21・10)P34・81

「関ヶ原の戦い」にお家再興を遂げた武将 高羽由美 関ヶ原の歴史 366(22・03)P1・4

新説「関ヶ原の合戦はなかった」を検証する 田邊信行 関ヶ原の歴史 367(21・04)P1・6

美濃国守護土岐氏の最後の居館 大桑城の成立 西村寛良 濃飛の文化財 61(22・02)P36・43

『岩手文庫』所収「土岐政房知行安堵状」の「買地安堵」と垂井地域 宮野宣康 垂井の文化財 46(22・03)P8・16

牧田合戦 古川英治 垂井の文化財 46(22・03)P27・32

藁沓から蹄鉄は享保年間以降 大垣藩馬術師範永田家の「阿蘭陀馬事啓」横幕改 濃飛の文化財 61(22・02)P51・53

垂井曳山車祭り関連古文書から新たな発見 幕末から明治にかけての休祭年の様子について 酒井朝三 垂井の文化財 46(22・03)P33・42

郷土の歴史あれこれ「山中」というところ その一 高木優梁 濃飛の文化財 61(22・02)P43・46

大垣城が「搔キトテ屋敷」だった頃――若森城、青柳城(割田城)、元大垣城――坂東肇 大垣市文化財保護協会会報 44(20・06)P16・21

与六郎と赤報隊 鏡見正義 垂井の文化財 45(21・03)P28・37

新田開発から400年(その三) 田中恵順 輪之内学研究 11(22・04)P77・87

小津の木地師(三) 五十川勇吉 いびがわ文化財 49(21・04)P6・8

揖斐の史話伝説 小島のすさみ・蘇生の泉――中世の揖斐を探る――小谷和彦 いびがわ文化財 50(22・04)P3・6

- 壬申戸籍と『郡上藩医学校』 森永正
文 郡上史談 166(22・02) P 1・5
郡上藩宝曆騒動 評定所判決後の郡上
白石博男 濃飛の文化財 61(22・02)
P 54・57
五輪塔・中世墓から捉える東池田城
野村徹也 濃飛の文化財 61(22・02)
P 29・30
『飛州志』の成立についての考察 長
瀬公昭 斐太紀 29(22・04) P 135・146
古代の序列社会における飛騨の差別
三輪義弘 斐太紀 28(21・11)
P 36・44
尾崎城再考 ―発掘報告書を読み直す―
佐伯哲也 飛騨の中世 12(21・10)
P 11・20
増島城築城について 白川修平 斐太
紀 28(21・11) P 299・304
松倉城石垣築城者問題「論争」―論理
的思考からこの「論争」の背景を考
える― 中居裕 斐太紀 28(21・11)
P 305・316
松倉城石垣論争に寄せて 福井重治、
斐太紀 28(21・11) P 317・320
松倉城、石つくり築城への挑戦 三木
氏、築城技術の変遷 田口勝 斐太
紀 28(21・11) P 325・333
松倉城に代表される飛騨各城の最終築
城者は誰だ ―城郭研究者、中井均
氏らの見解にいくつかの疑問― 岩
田修 斐太紀 28(21・11) P 334・353
飛騨国司姉小路氏城館跡の遺構配置調
査 三好清超 飛騨の中世
12(21・10) P 82・100
江馬氏城館跡下館跡出土墨書土師器皿
について 石川路 飛騨の中世
12(21・10) P 101・116
飛騨中世史研究私論(十) 二反田實
飛騨の中世 12(21・10) P 128・146
飛騨白川に築かれた城館について 田
口勝 飛騨の中世 12(21・10)
P 155・160
菱屋川上宗貞私論Ⅲ ―宗貞は佐々成
正高原郷進攻とサレ峠越えに関わっ
たか― 都竹清隆 飛騨の中世
12(21・10) P 161・176
茂住宗貞が活躍した初期の茂住・和佐
保銀山の姿 茂住修史 飛騨の中世
12(21・10) P 177・183
飛騨国と越中国の国境 ―金森氏と前
田氏の藩境の鉾山事情― 住修 飛
騨の中世 12(21・10) P 117・127
高山陣屋語り部 続 天領下の飛騨国
と高山陣屋 長沼雪男 斐太紀
28(21・11) P 67・77
変貌する故郷「上切」 八千年の歴史
を迎える(下) 峠順治 斐太紀
28(21・11) P 211・234
四月一日の「乞食まつり」におんざら
んかな? 神田卓朗 篝火
159(22・03) P 16・17
常縁没後の東氏系譜 高橋教雄 郡上
史談 165(21・10) P 5・6
竹中半兵衛重治公の生涯 水野隆生
関ヶ原の歴史 362(21・11) P 1・4
「岩手氏」祖先攷 宮野宣康 垂井の
文化財 45(21・03) P 8・17
もう一つの麒麟が来る「栗原右衛門
尉義師の事」 古川英治 垂井の文化
財 45(21・03) P 48・52
竹中半兵衛重治公の絶筆 水野隆生
垂井の文化財 45(21・03) P 53・60
西郷吉之介の手紙 内海清明 垂井の
文化財 46(22・03) P 66・70
織田検地と国替 藤田達生 織豊期研
究 23(21・10) P 88・108
日本武尊とスクナ ―如是我説― 儼
追神酒男 斐太紀 28(21・11)
P 103・115
赤田臥牛と津野清州 糸田恵子 斐太
紀 29(22・04) P 147・159
播磨信仰と仏教⑤ ―槍ヶ岳開山播磨
上人― 高野聡 斐太紀 29(22・04)
P 160・174
飛騨真宗開祖嘉念房善俊(第二編)
―郡上古島を経て白川郷に入るまで―
代價亭郎 濃飛の文化財 61(22・02)
P 24・28
各務原市出身の伝染病研究者 小島三
郎 大堀等 濃飛の文化財
61(22・02) P 70・73
飛騨地域の山林における小地名につい
て(二) 佐野公樹 斐太紀
29(22・04) P 4・13
上切の地名考察(変貌する故郷「上切」
八千年の歴史を迎える 補遺一) 峠
順治 斐太紀 29(22・04) P 48・56
「藤」のつく名字・地名の由来 説田
武紀 濃飛の文化財 61(22・02)
P 76・80
多治見市南郷地区の暮らしに根付く木
曾川水系姫川 K200 121(22・04)
P 3・4
ジョルジュ・アペールの飛騨紀行「日
本の一隅 飛騨地方」について 黒柳
大造 斐太紀 29(22・04) P 110・121
飛騨国地理小誌(続) 佐藤順造(著)、
山田直利(注・解説) 斐太紀
29(22・04) P 39・47
社会科学
公共空間の活用とにぎわいづくり ―
コロナ禍を機とした道路・公有の基準
緩和と大垣市の挑戦― 中村紘子
レポート(OKB総研) 184(22・01)
P 3・8
過疎化する地方は「多様な働き方」で
活性化するか? 森俊介 経済月報
796(21・12) P 12・16
2020年国勢調査から見る全国と岐阜
県の外国人人口 中村紘子 レポート
(OKB総研) 185(22・04) P 3・10
原材料・仕入れ価格の影響に関する特
別調査 藤木由江 経済月報
797(22・01) P 10・14
第196回東海地区企業動向調査 小島一
憲 経済月報 801(22・05) P 6・11
消費動向に関するアンケート調査

- (2021年8月期) 萩原綾子 経済
月報 795(21・11) P 6・11
第23回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果 梅木風香 レポート
(OKB総研) 185(22・04) P 21・27
夫の家事・育児負担および在宅勤務に関する調査結果 梅木風香 レポート
(OKB総研) 185(22・04) P 28・34
新型コロナウイルス禍における消費意識調査 萩原綾子 経済月報
794(21・10) P 12・18
働く人の意識調査(2022年2月期)
萩原綾子 経済月報 800(22・04)
P 8・13
労働環境に関する特別調査 藤木由江
経済月報 800(22・04) P 14・19
『采真学校(現岐阜県関市立富岡小学校)開業願』藤田佳一 濃飛史艸
130(22・04) P 2・5
屋台大津絵のからくり人形譲渡の年について(鳩峯車組に残る勘定記より)
川上富子 斐太紀 28(21・11)
P 30・35
鳩峯車組旧屋台「大津絵」の懸装幕について 川上富子 斐太紀
29(22・04) P 76・85
富加町伊和神社の田の神祭り ―陰陽道の趣旨を伝える祭事― 清水昭男
濃飛の文化財 61(22・02) P 81・86
表佐の「共同墓地」について思う 鏡
見正義 垂井の文化財 46(22・03)
P 53・59
飛騨獅子舞雑考(十一) 元下義博
斐太紀 28(21・11) P 259・295
綾戸・平尾地区に伝わる「松阪踊り」
廣瀬隆博 垂井の文化財 45(21・03)
P 61・65
旧厚見郡下佐波の雨乞い提灯 ―青木
久太郎家文書の雨乞い史料から―
岡田吉孝 濃飛の文化財 61(22・02)
P 86・91
夜叉が池伝説に関わること 吉野幸博
いびがわ文化財 49(21・04) P 1・3
自然科学
飛騨地方の気象(九)「朝曇り」につ
いて 岩田勲 斐太紀 29(22・04)
P 22・25
高山盆地と松本盆地の気象研究 ―気
候の変遷と盆地の底冷えについて探
る― 岐阜県立斐太高校科学部 自
然科学部会のあゆみ 29(22・03)
P 165・170
夫婦岩と材木岩 直井幹夫 斐太紀
29(22・04) P 26・29
瑞浪層群および石川層群に挟在する凝
灰岩の記載岩石学的特徴 笹尾英
嗣 檀原徹 山下透 林譲治 瑞浪市
化石博物館研究報告 48(22・03)
P 9・19
市道戸狩・月吉線工事で露出した中新
統瑞浪層群明世層から産出した貝類
化石 安藤佑介 瑞浪市化石博物館
研究報告 48(22・03) P 90・98
土岐炭層の含植物化石泥岩(瑞浪市)
から見出された珪藻 田中宏之 瑞浪
市化石博物館研究報告 48(22・03)
P 103・106
輪中にある外来種(農業と外来動物)
神戸孝司 輪之内学研究 11(22・04)
P 21・32
ハナノキ自生地の上限 玉木一郎、籠
橋まゆみ 岐阜県植物研究会誌
36(21・12) P 3・6
乗鞍岳高山帯におけるコバイケイソ
ウ・オオバイケイソウ群落の種組成
と立地 後藤裕治、川村智子、酒井
英二 田中俊弘 岐阜県植物研究会
誌 36(21・12) P 7・16
前沢湿地(岐阜県御嵩町・瑞浪市)の
湿生植物群落 後藤裕治 岐阜県植
物研究会誌 36(21・12) P 17・24
私説 飛騨の植物誌 その4 小野木
三郎 斐太紀 29(22・04) P 98・109
岐阜のギフチョウ① 石徹白 水谷治
雄 だんだらちよう 113(21・01)
P 6・9
美濃の抱瘡事情 清水進 濃飛の文化財
61(22・02) P 58・63
種痘接種と蘭方医 清水進 美濃の文化
151(22・02) P 2・6
輪の内における昔の地域医療事情(1)
昭和20～30年代を振り返って 田中
耕 輪之内学研究 11(22・04)
P 44・50
工学・産業
水道事業のこれからとコンセッション
方式の問題 富樫幸一 自治研ぎふ
131(22・02) P 4・18
ブルーのタウトが見た白川郷合掌造建
築―タウトの建築思想の視点から―
黒柳大造 斐太紀 28(21・11)
P 45・56
飛騨小島城に高石垣は存在しなかった
―城郭研究者らへの反論― 岩田修
斐太紀 29(22・04) P 184・196
大垣城をモデルにした天守 鈴木隆雄
濃飛の文化財 61(22・02) P 64・66
生産量全国一を誇る多治見市笠原町の
モザイクタイル MISO 121(22・04)
P 1・2
飛騨の木工業とデザイン振興につい
て(八) 山腰實 斐太紀 29(22・04)
P 175・183
岐阜県最大の開拓地 上野平の開拓者
たち 田中彰 斐太紀 29(22・04)
P 57・65
岐阜県の満州開拓移民を中心に(四)
馬淵曼修 濃飛の文化財 61(22・
02) P 67・70
賑わう山県市の新レジャースポット
「みとか」 神田卓朗 篝火
158(21・12) P 18・19
「ひだほまれ」の施肥体系が生育、収
量及び品質に及ぼす影響 可児友
哉、澤井美伯、吉村明浩、石橋裕也
岐阜県中山間農業研究所研究報告

- 17 (22・03) P 1・7
 エゴマの栽培方法が機能性成分含有率に及ぼす影響 安江隆浩 田中良憲
 石橋裕也 岐阜県中山間農業研究所
 研究報告 17 (22・03) P 8・14
 夏ホウレンソウ栽培における内張クロス自動遮光技術の開発 岩間翔太
 石橋裕也 岐阜県中山間農業研究所
 研究報告 17 (22・03) P 15・25
 休山以前の御用木元伐請負人(五)
 —幕領飛騨林業史の再検討— 福井重治 斐太紀 29 (22・04) P 86・97
 明治の東海道新幹線計画(三) 大矢博 養老町の文化財 155 (21・12) P 5・6
 消えゆく飛騨の峠道を歩く その四
 木下喜代男 斐太紀 28 (21・11) P 116・128
 長良川と中世関鍛冶の繁栄 江西奈央美 KSO 121 (22・04) P 8・10
 地図・絵図の中にある道と川 —中山道・東山道・長良川・木曽路を取り上げて— 黒田隆志 古地図文化ぎふ 22 (22・05) P 2・11
 東山道を考える 小玉義弘 垂井の文化財 45 (21・03) P 18・27
 東山道から中山道・美濃路へ —西濃を通る旅の経路をたどる— 長澤利治 濃飛の文化財 61 (22・02) P 20・23
 宮代における常夜燈の調査 藤塚久勝 垂井の文化財 45 (21・03) P 45・47
 郡上八幡駅ひらく —近代の鉄道施設が残る長良川鉄道越美南線— 齋藤知恵子 八幡町文化財協会会報 45 (21・03) P 4・5
 国有林の森林鉄道 森林のたより 818 (21・11) P 20
 芸術・言語・文学
 北方西方の観音様 栗田昭行 いびがわ文化財 50 (22・04) P 7・8
 矢橋六郎さんを知っていますか? 古川秀昭 レポート(OKB総研) 184 (22・01) P 39・42
 『飛騨市河合「小雀獅子」の音楽 小考』補(三) 久野壽彦 ぎふ民俗音楽 130 (21・11) P 5・7
 大神楽の「奴踊り」の音楽 —郡上市白鳥町二日町日吉・八幡神社祭礼より(一)— 久野壽彦 ぎふ民俗音楽 131 (22・02) P 6・8
 明治期に乗鞍岳で起きた大量遭難 木下喜代男 斐太紀 29 (22・04) P 66・75
 機関雑誌『ツリスト』における鵜飼の記述 瀬戸敦子 岐阜女子大学紀要 51 (22・02) P 59・64
 木村小舟による〈少国民文化〉の創生 —「岐阜県通俗図書館」設立の背景と意義— 林正子 岐阜大学地域科学部研究報告 49・50号(22・02) P 17・40
 高校生達による飛騨文学の研究(二) —米澤穂信の作品の背景に描かれる「異なる社会的価値観・思考の対峙」に着目して— 黒柳大造 斐太紀 28 (21・11) P 129・141
 常縁詠「東路や都の空の悲しさに更けて眺むるよなよなの月」をめぐって(上) 松井陽介 郡上吏談 165 (21・10) P 1・5
 奥の細道の「岩手の里」について(論文再発見シリーズ71) 小林文夫 獅子吼 991 (21・11) P 21・23